

---

# 我悟り、我問う

梅干し

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

我悟り、我問う

### 【コード】

N0313A

### 【作者名】

梅干し

### 【あらすじ】

小説家を密かに夢みはじめた男の心情を描いた短編です

小説を書く事にした。理由は、夏目漱石や山本周五郎や司馬遼太郎やハリーポッターのようになりたいからだ。

彼等が描いた人間模様、怒り、憎しみ、裏切り、心の葛藤、友情や愛情の在り方といった、人間のリアルな一面を本題に取り上げた作品を読み、私は心奪われた。

かつて『ドラえもん』や『こち亀』だけが読書であった私は、初めて自身の成長を実感した。

それからというものの、古本屋さんに出向いては、漫画に読みふける少年達や、スケベ本コーナーに入り浸る歩き方の少しおかしい大人達の横を得意顔で通り過ぎ、有名な著者やどこかで聞いた事ある本を片っ端から読み始めた。サスペンスやホラーなど、面白ければ何でも読んだ。

そうこうしてる内に、「こんなん書けたら最高じゃなあ」と本を読む度思う様になり、

そうこうしてる内に、「こんな俺でも書けるじゃろーか」とつねずね悩む様になり、

そうこうしてるうちに、今に至る。

さて、

何を書こう。

うーむ、困った。

ネタがなあ なかなかなあ。

パクリはまずいだろ！ チョサクケンとか言われたらどーすりゃあ。恋愛とかどうかなあ、未知のジャンルだし。しかし私にはさほど恋愛経験があるわけではない。

漱石の『心』のように、愛情と欲望の為に大きな過ちを犯した事も

ないし、『マディソン郡の橋』のように、「ああロバート、私は自分を見失いそうだわ」と言われたこともない。

普通にバイト先で知り合ったりして、意気投合でデートして、半年か、持って一年か、

すれ違いとか飽きたとかフツタフラレタとかで、最近では色恋沙汰が面倒臭くなつてきてしまった。冷めた見方しか出来ない自分にどうして読む人の心を掴む小説が書けようや。

止めだヤメ！うゝむ、困った。

そうだ、時代物はどうだ、武士の魂 和の心、新羅万象斬り捨て御免、あいやまたれい御老中

そこにおわすは光圀公 歳を召されて皺だらけ、助さん角さんこやつ等を のしてお仕舞いわしゃ見てる バツタバツタと薙ぎ倒し、平謝りの越前屋 残る残党散り散りに お情けあつての光圀公 『助さん角さんもういいでしょう、これ以上の殺生は無用です、許してあげなさい。』

息もぜーぜー角さんが 左手に持つは御印籠 『静まれい静まれい！この御方をどなたと心得る！えーと、水戸光圀公にあらせられるぞ！』 ははあーと下がる負け犬ども その眼に飛び込む仏顔『良いのじゃ良いのじゃ皆の衆、悪は充分懲らしめた、これからは心を入れ替え、世の為人の為に生きるのじゃ』真心こもるその声に、浪人達が男泣き 助さん角さん疲労困憊 爺さんさつさと旅支度 さあさお二人行きましよう 次なる宿を見つけねば

二人にくつろぐ暇は無し 助さん角さん何想う ああ夕暮れ空に何想う 駄目だ！

この芝居仕立て風が駄目だ。

あと笑いを取ろうとゆう意図がみえみえなのが気に食わん。

第一私は歴史をまるで知らない。まあ織田信長ぐらいは知ってるが。そういえば織田信長は何であんなに沢山の人間を殺したんだろう。

いや、信長だけじゃないな、あの時代に生きた人達、数え切れない沢山の人だ、鉄砲で撃ち、刀で人間を突き刺す。何でそんな事がで

きるんだらう。何千人何万人もの人が殺し合う。何の為だらう。分らない、色んな推測はできる。生活の為だとか武士の何たるかとか、天下統一がどうか。

そういえば今も一緒かなあ、戦争とか至る所でやってる。アメリカの大統領さんも兵隊の人もミサイルガンガン撃つたりして、やっぱり何千何万の人が殺し合うんだね。それって

おおーっつと忘れてた！私は小説を書きたいんだった。

うーむ、わからん！

こりゃもうみんなに聞いてみるしかないな。

とゆう訳で、この私の処女作『我悟り、我問う』を読んで頂き、誠に有難う御座いました。

本当にネタが無かったので、登場人物もストーリーもへったくれもない、自分の心情のみを書いたとゆう、もう真面目に取り組んでる皆さんからすればなめとんか！ってゆうような糞コロガシのような作品でして・・・むっへっへ

そこで皆さんにお尋ねしたいのですが、

なんかネタない？ネ・タ！

(後書き)

最近かわった価値観や視点から小説を書いている人がいる事を知った。その人の作品を読んで、成る程こりや面白いと思いつつ、少しずつ自分の物の見方がそれに影響されてきた気がする。この先、どんな本が僕にどんな影響を与えるのか、楽しみです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0313a/>

---

我悟り、我問う

2010年10月15日23時57分発行